

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年6月26日

札幌市長 殿

提出者

住 所 札幌市東区北42条東17丁目6番12号

氏 名 大和リース株式会社 札幌支店  
支店長 稲垣 仁志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 011-786-5141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和リース 株式会社 北海道支店
事業場の所在地	札幌市東区北42条東17丁目6番12号
計画期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業 一般土木建築工事業 [0911]
② 事業の規模	2024年3月期 売上 6,499百万円
③ 従業員数	68名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

（日本工業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙②のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙③のとおり		
	産業廃棄物の種類		
②計画	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・工法の改善</li> <li>・梱包材の簡素化</li> <li>・実寸発注</li> <li>・余剰材の引取</li> </ul>		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の種類毎、性状毎、再生出来るもの等に分別</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の種類毎、性状毎、再生出来るもの等に分別の徹底</li> <li>・自社、下請け業者の指導啓発に努め、手間や経済性にとらわれず現場での分別を徹底</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組)	

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 2024年度）実績】 別紙④のとおり		
①現状	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定することとしている。</li> <li>委託処理業者に対しては、契約前に処理状況の現地確認を行う。</li> </ul>		

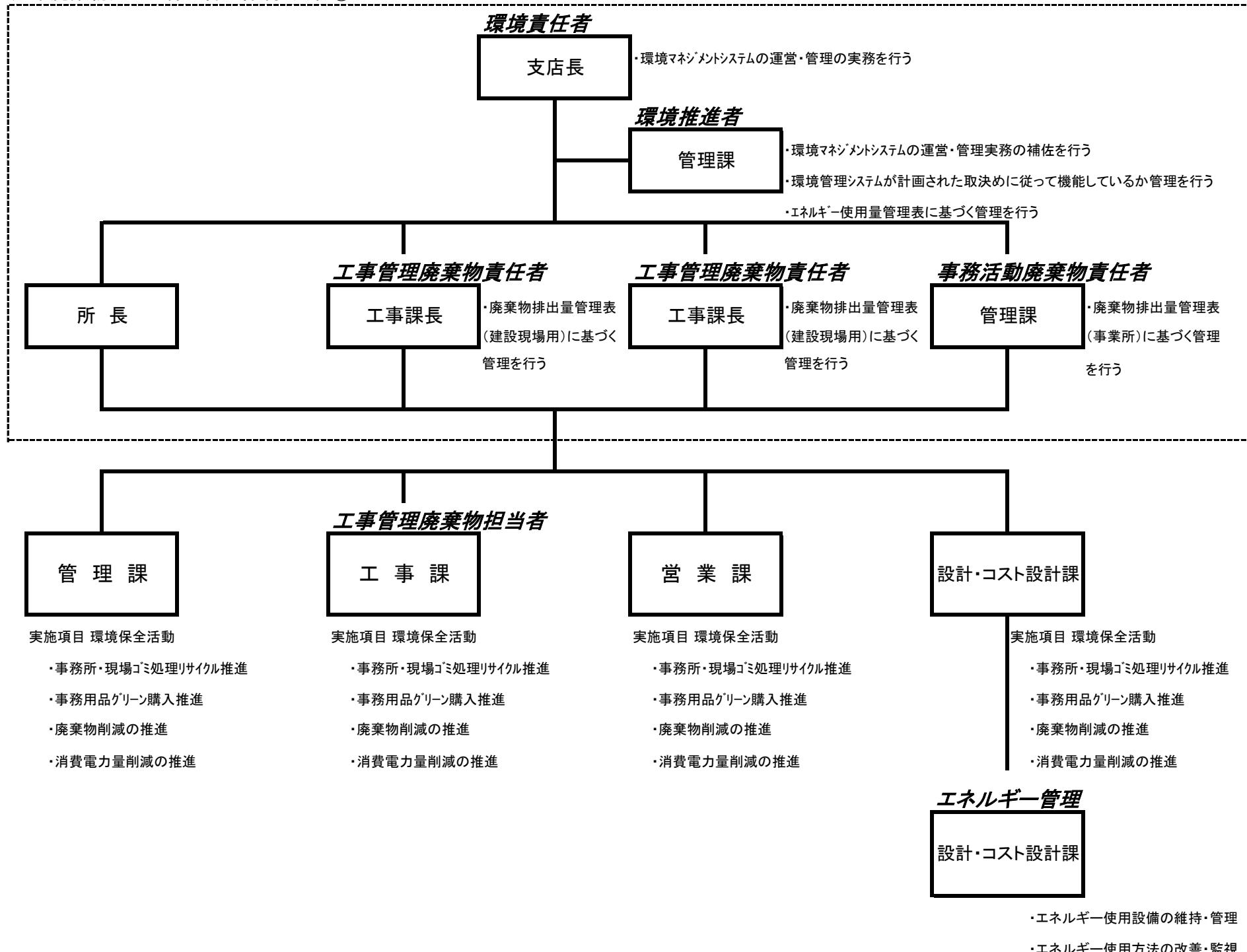
②計画	【目標】 別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り電子マニフェスト対応可能な処理業者であるとともに優良認定処理業者から選定する</li> <li>委託処理業者に対しては、契約前に処理状況の現地確認を行うと共に引き続き定期的に処理状況の現地確認を行う</li> </ul>			
※事務処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙①

産業廃棄物の種類	処理工程
コンクリートがら	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→再生碎石として再資源化
アスコンがら	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→再生アスコンとして再資源化
廃プラスチック類	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→再生プラスチック原料として再資源化
紙くず	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→再生紙原料・固形燃料として再資源化
木くず	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→木材チップとして再資源化
金属くず	中間処理業者へ委託→電炉メーカー・商社へ売却
ガラス陶磁器くず	中間処理業者へ委託 → 破碎・選別 → 路盤材・建材原料などとして再利用 (再利用不可)最終処分業者へ委託→埋立処分
がれき類	中間処理業者へ委託 → 破碎・選別 → 再生路盤材・埋戻し材として再利用
石膏ボード	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→石膏ボード・石膏粉として再資源化
一般廃油	中間処理業者へ委託 → 再生処理業者へ委託 → 油水分離・不純物除去 → 燃料として再利用(サーマルリサイクル)
蛍光灯	中間処理業者へ委託 → 破碎・水銀除去 → ガラス・金属を再資源化、水銀は適正処理または最終処分
ダンボール	中間処理業者へ委託→再生処理業者へ委託→再生紙原料・固形燃料として再資源化
汚泥	中間処理業者へ委託→脱水・乾燥処理→セメント原料・埋立処分などとして処理



### 産業廃棄物の排出に関する事項 別紙③

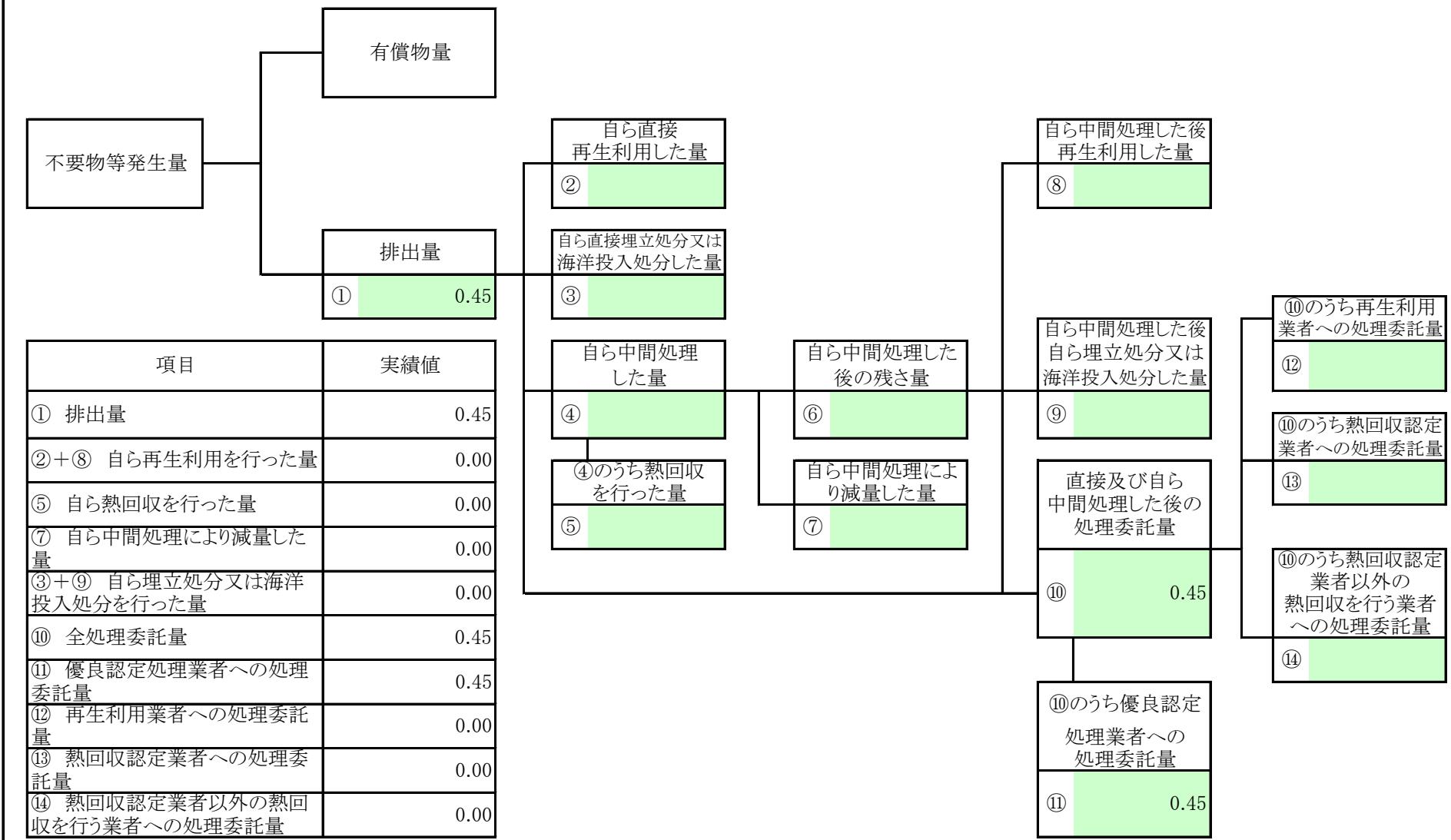
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙④

現状	前年度(2024年)実績					
産業廃棄物の種類	産業廃棄物	発生量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量(t)	再生利用業者への処理委託量(t)	認定熱回収業者への処理委託量(t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)
一般廃油	0.45	0	0	0	0	0
コンクリートがら	276.80	0	0	0	0	0
アスコンがら	149.45	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	50.70	0	0	0	0	0
紙くず	1.80	0	0	0	0	0
木くず	146.41	0	0	0	0	0
金属くず	171.31	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	24.86	0	0	0	0	0
がれき類	3.70	0	0	0	0	0
石膏ボード	155.50	0	0	0	0	0
混載	7.80	0	0	0	0	0
伐採材・伐根材	28.33	0	0	0	0	0
汚泥	0.11	0	0	0	0	0
ダンボール	0.30	0	0	0	0	0
合計	1,017.52	0	0	0	0	0

計画	本年度(2025年)の目標					
産業廃棄物の種類	産業廃棄物発生量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量(t)	再生利用業者への処理委託量(t)	認定熱回収業者への処理委託量(t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)	
一般廃油	0.00	0.00	0	0	0	0
コンクリートがら	200.00	200.00	0	0	0	0
アスコンがら	100.00	100.00	0	0	0	0
廃プラスチック類	50.00	50.00	0	0	0	0
紙くず	1.00	1.00	0	0	0	0
木くず	50.00	50.00	0	0	0	0
金属くず	100.00	100.00	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	10.00	10.00	0	0	0	0
がれき類	0.00	0.00	0	0	0	0
石膏ボード	50.00	50.00	0	0	0	0
混載	10.00	10.00	0	0	0	0
伐採材・伐根材	0.00	0.00	0	0	0	0
汚泥	0.00	0.00	0	0	0	0
ダンボール	0.00	0.00	0	0	0	0
合計	571.00	571.00	0	0	0	0

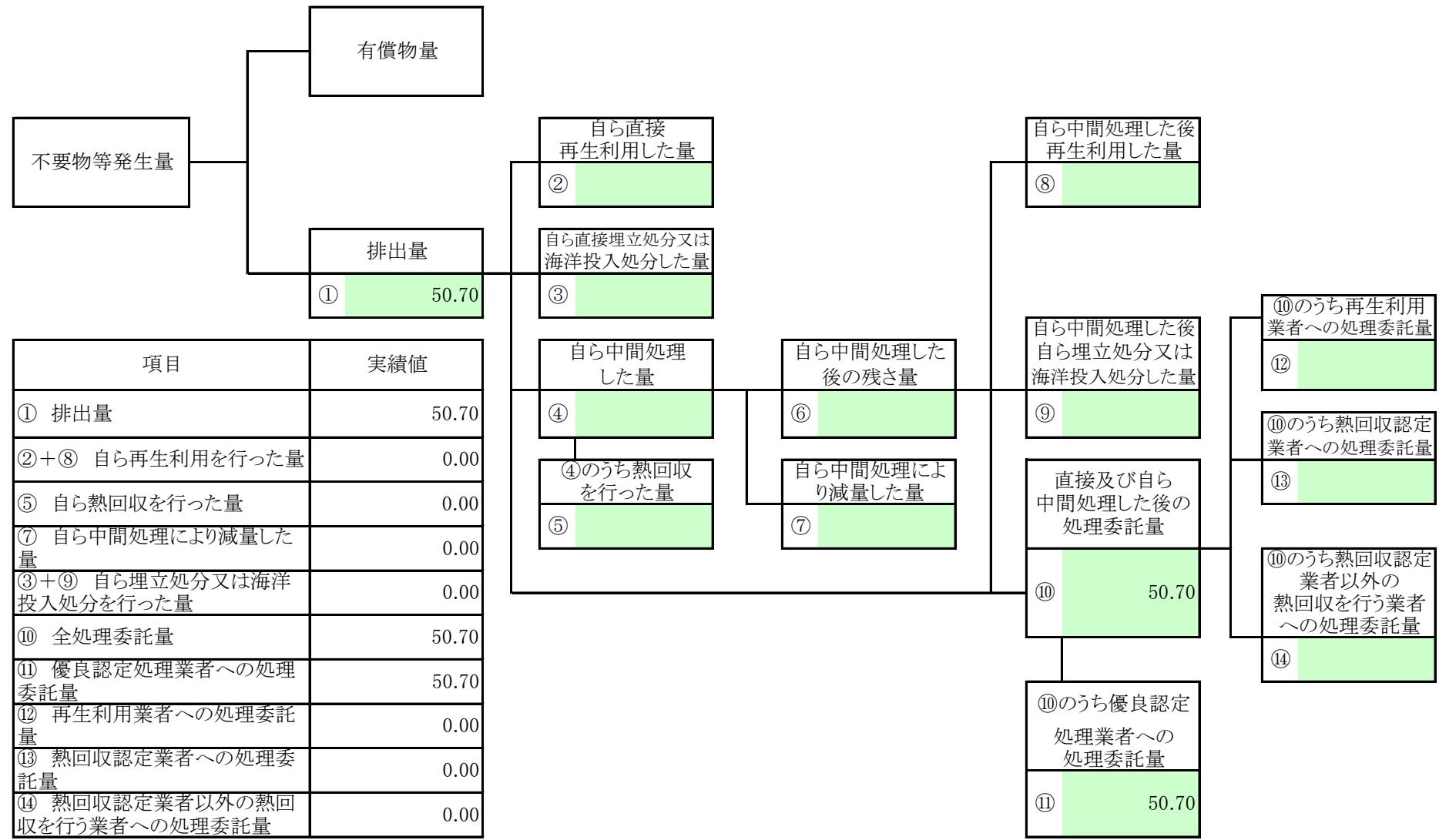
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 一般廃油 )



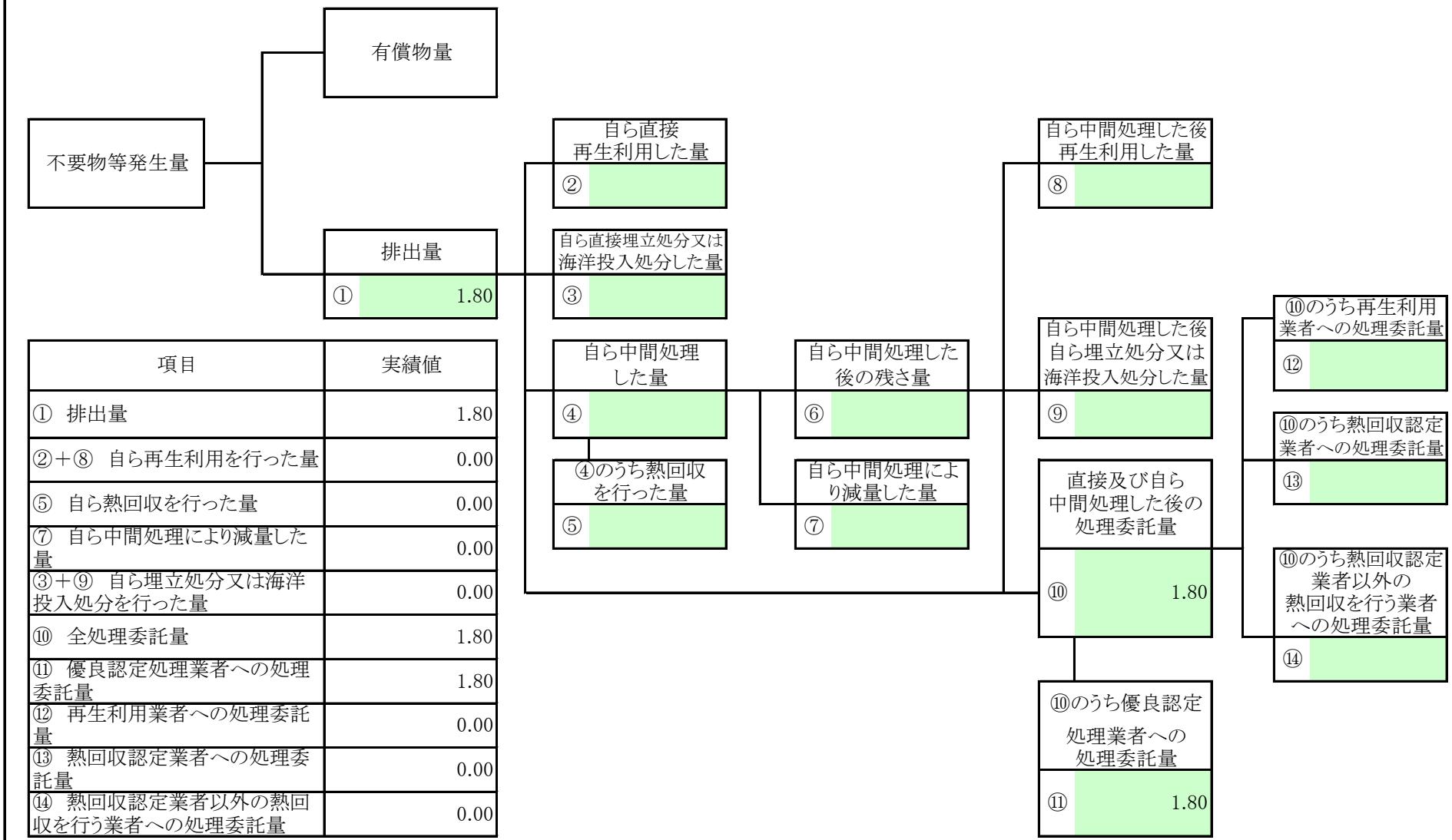
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類 )



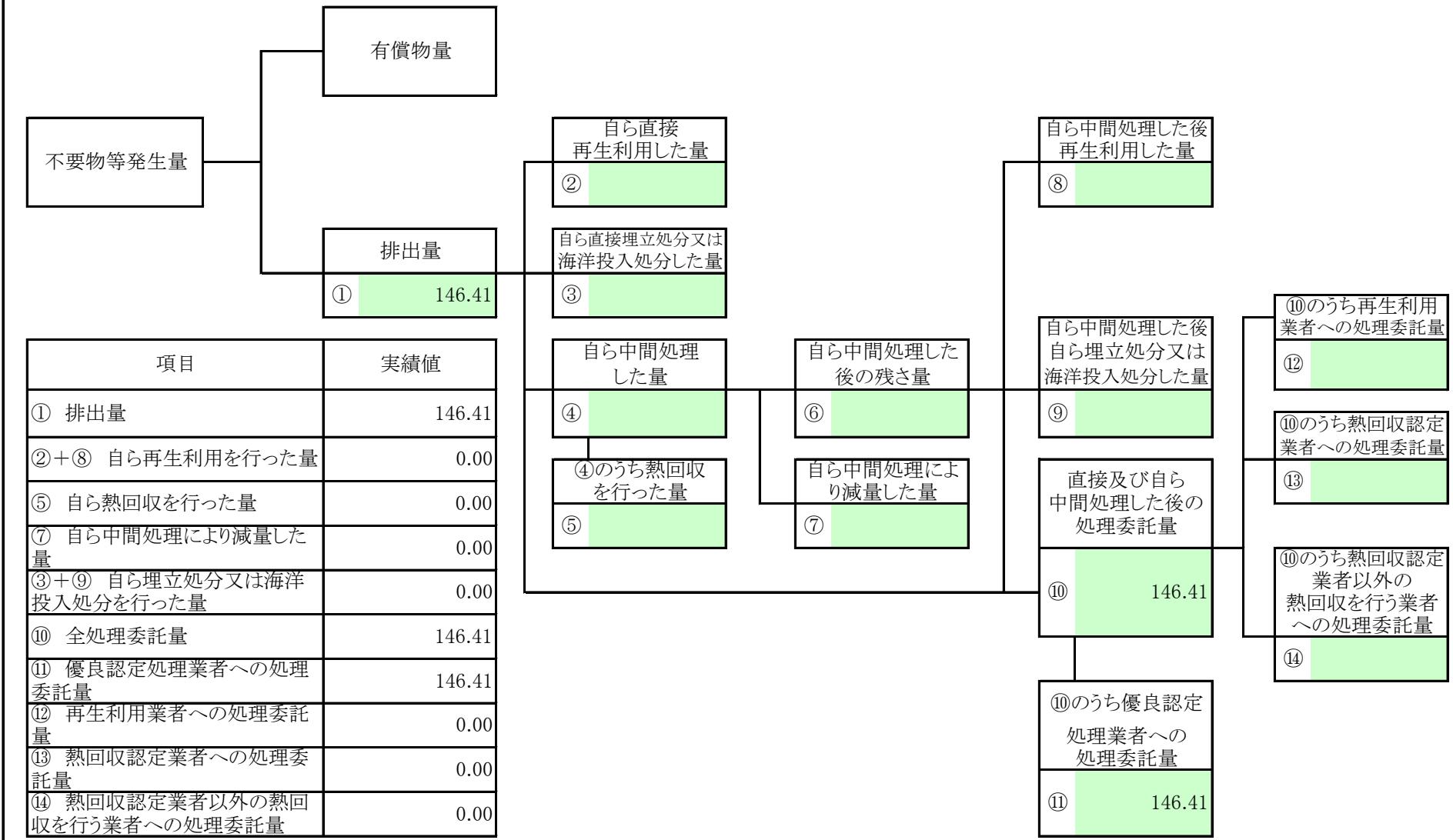
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



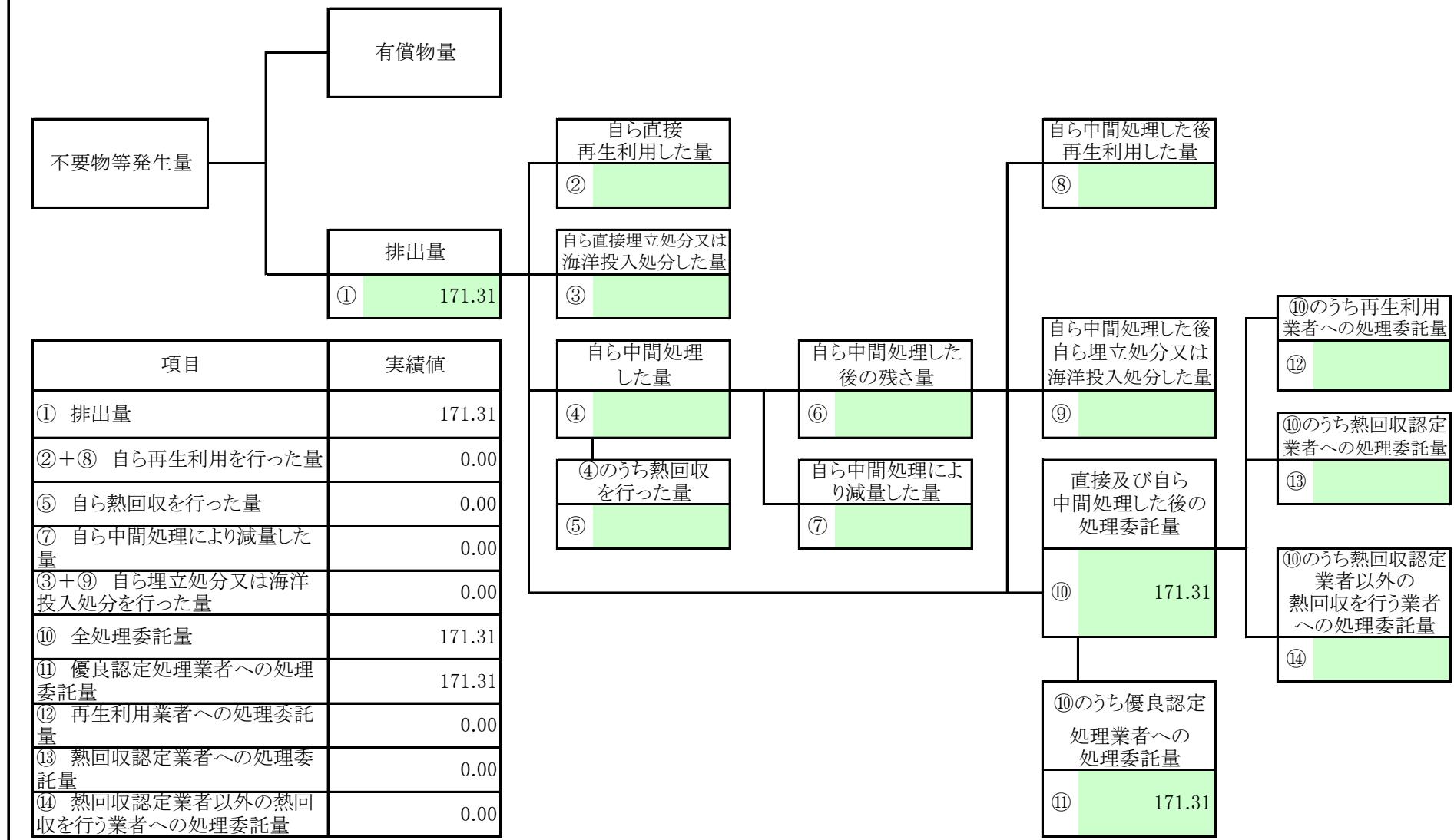
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



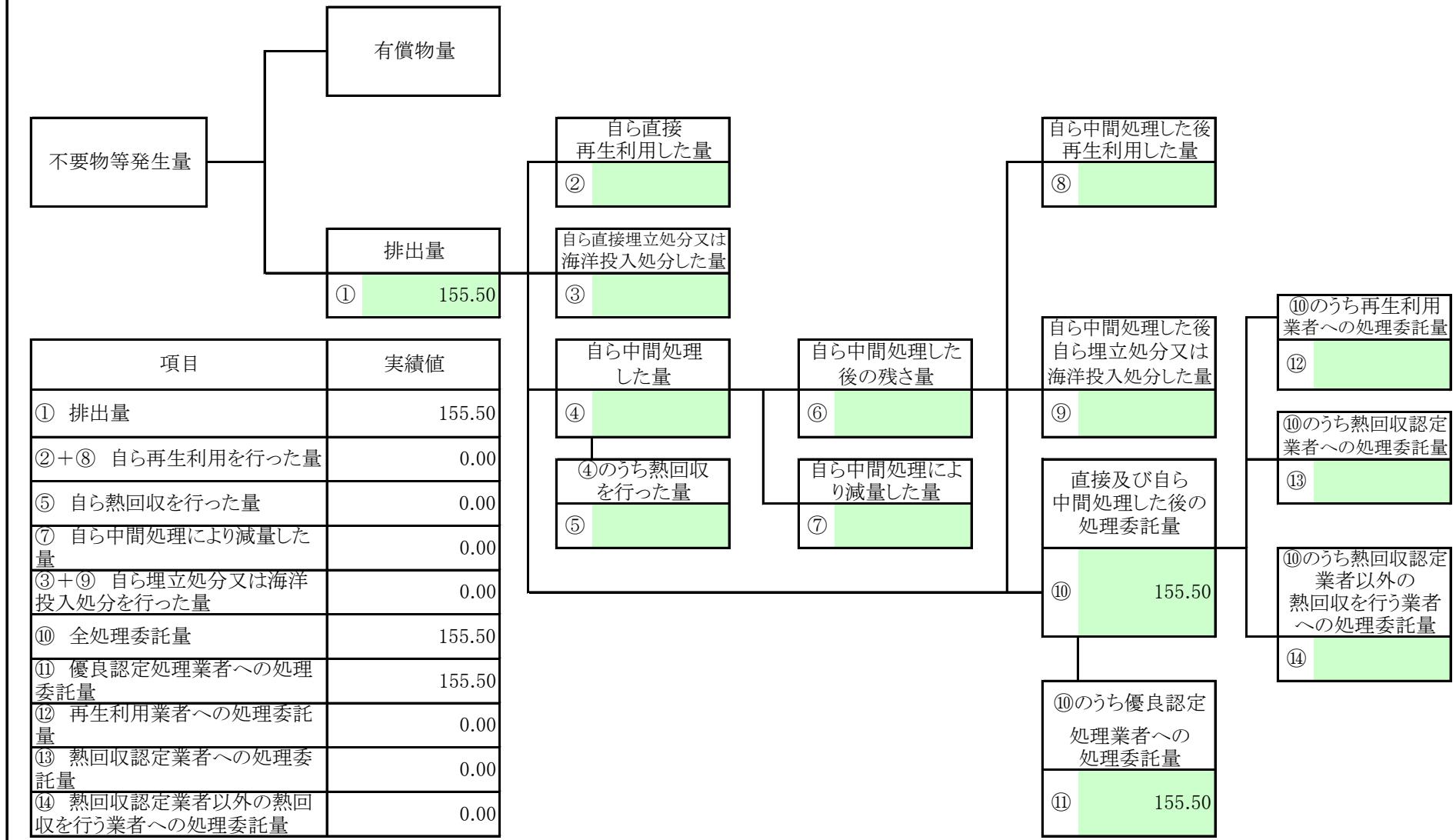
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず )



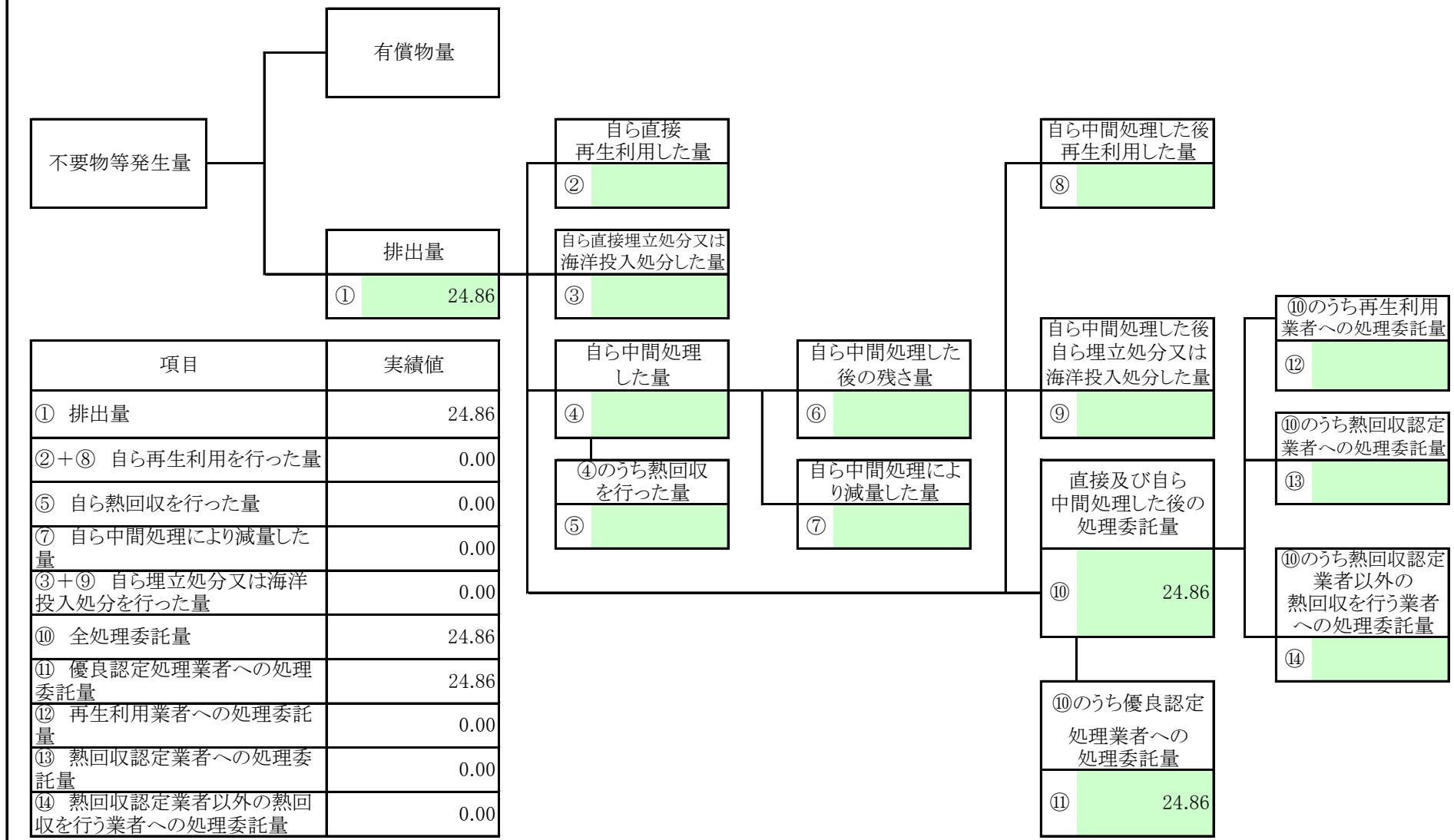
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)



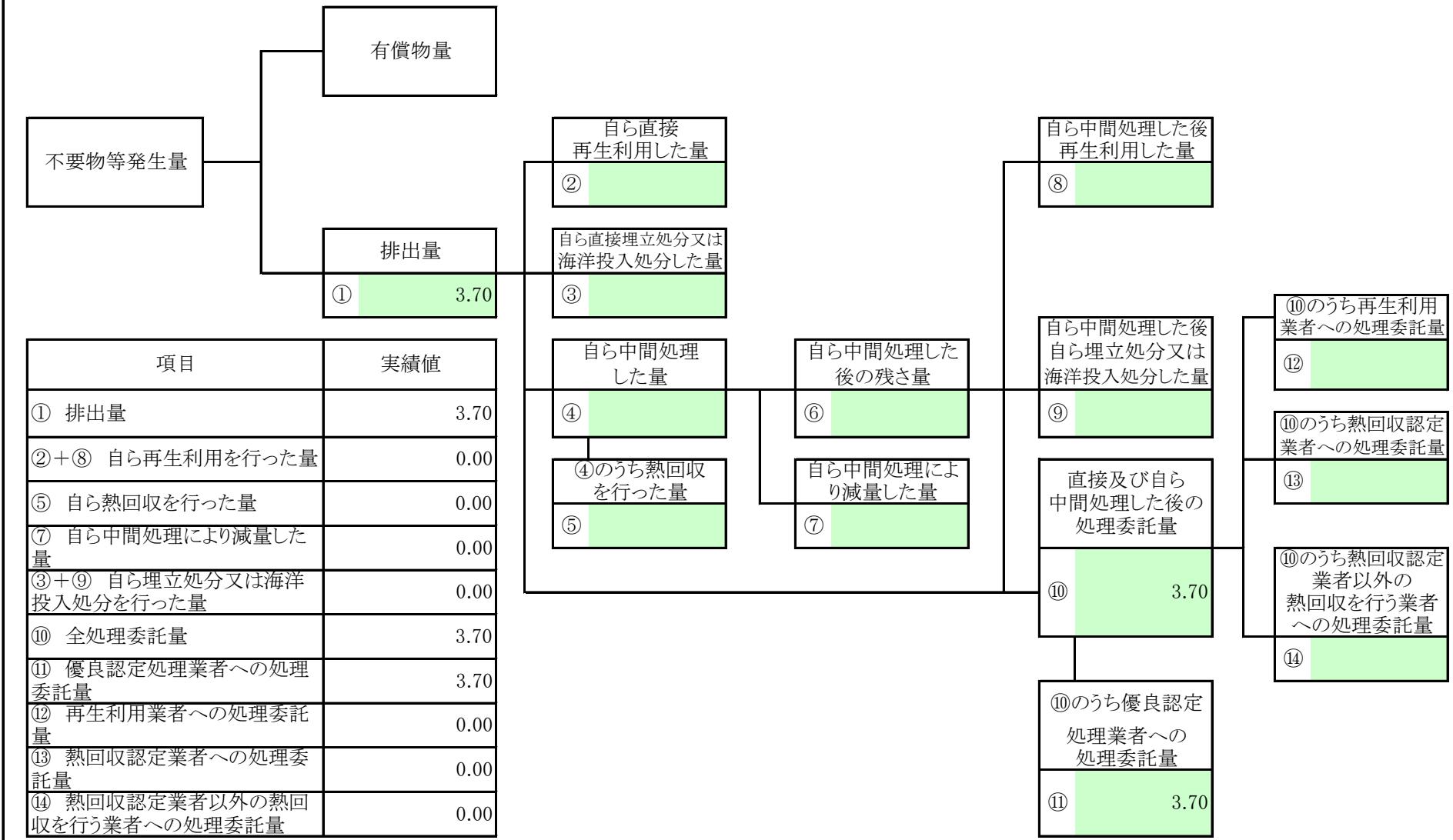
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



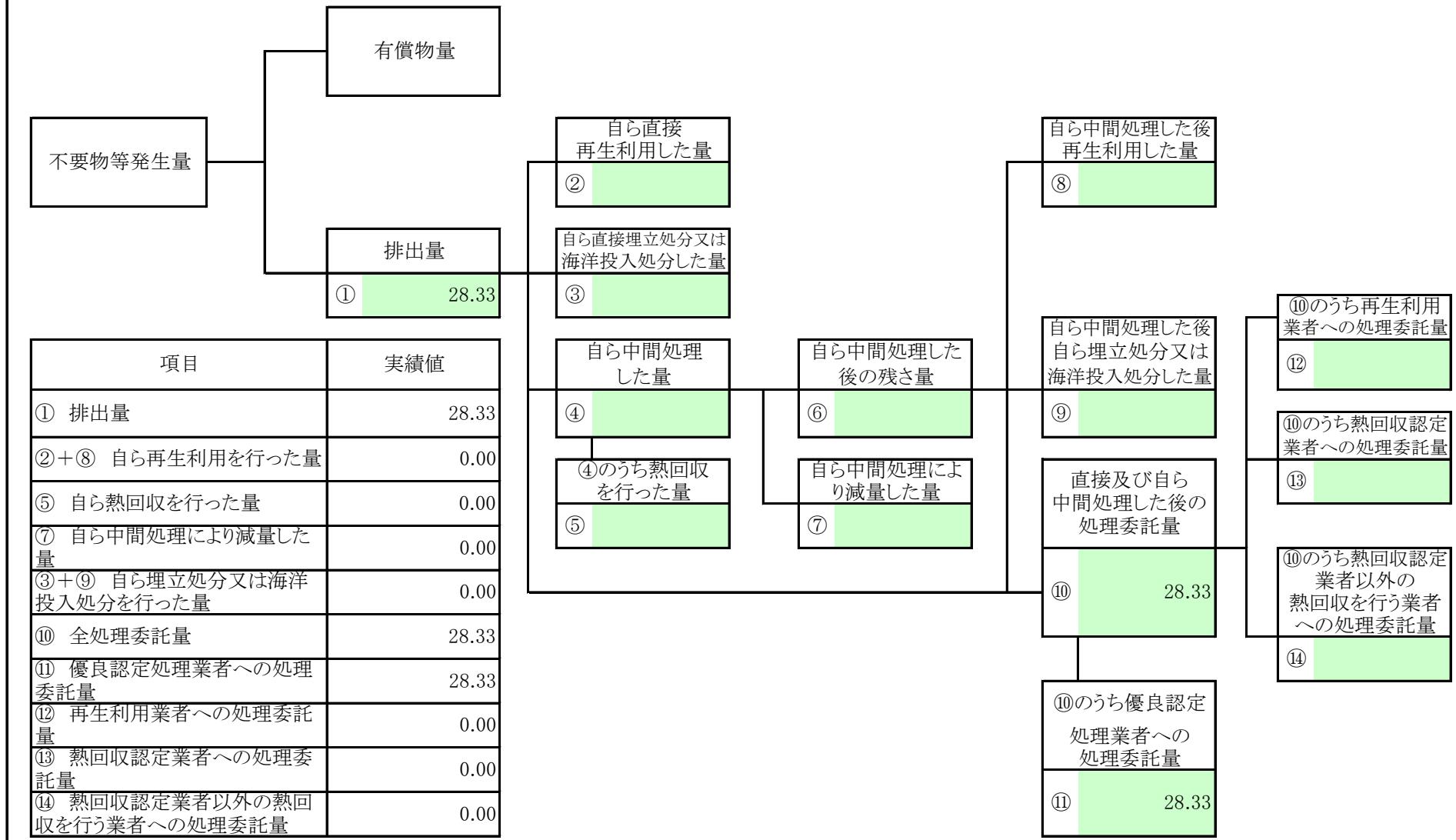
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



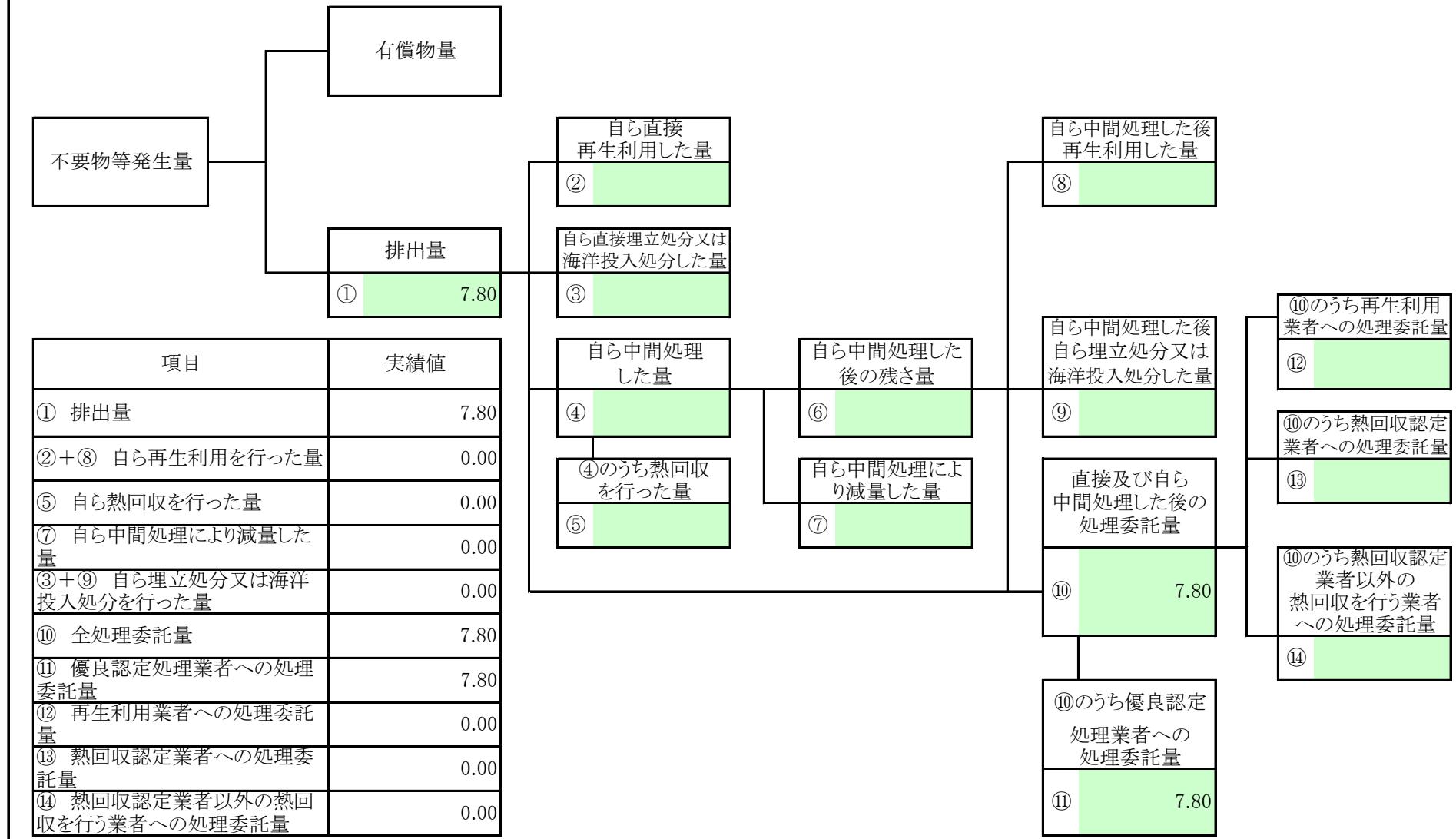
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 伐採材・伐根材)



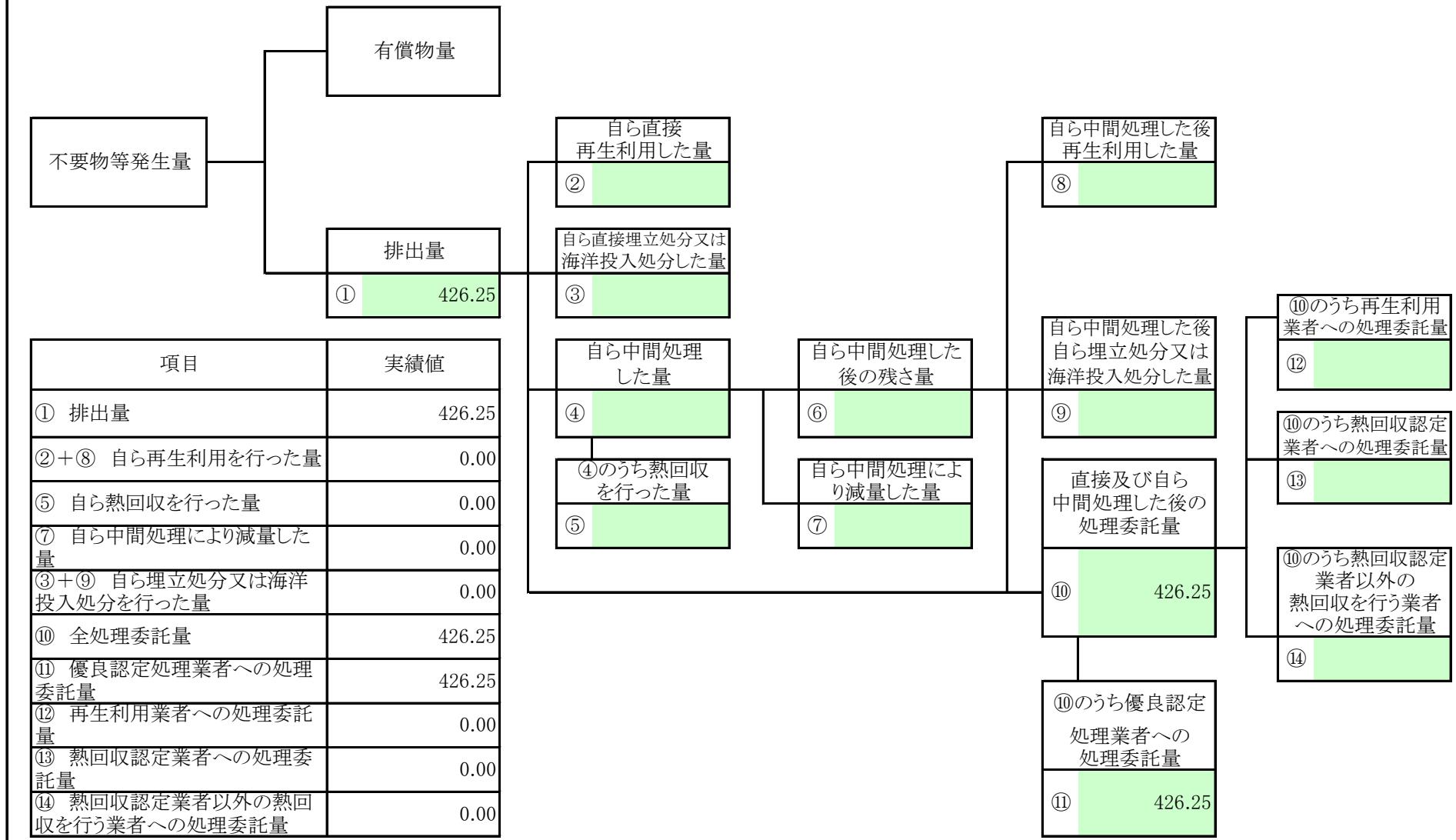
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



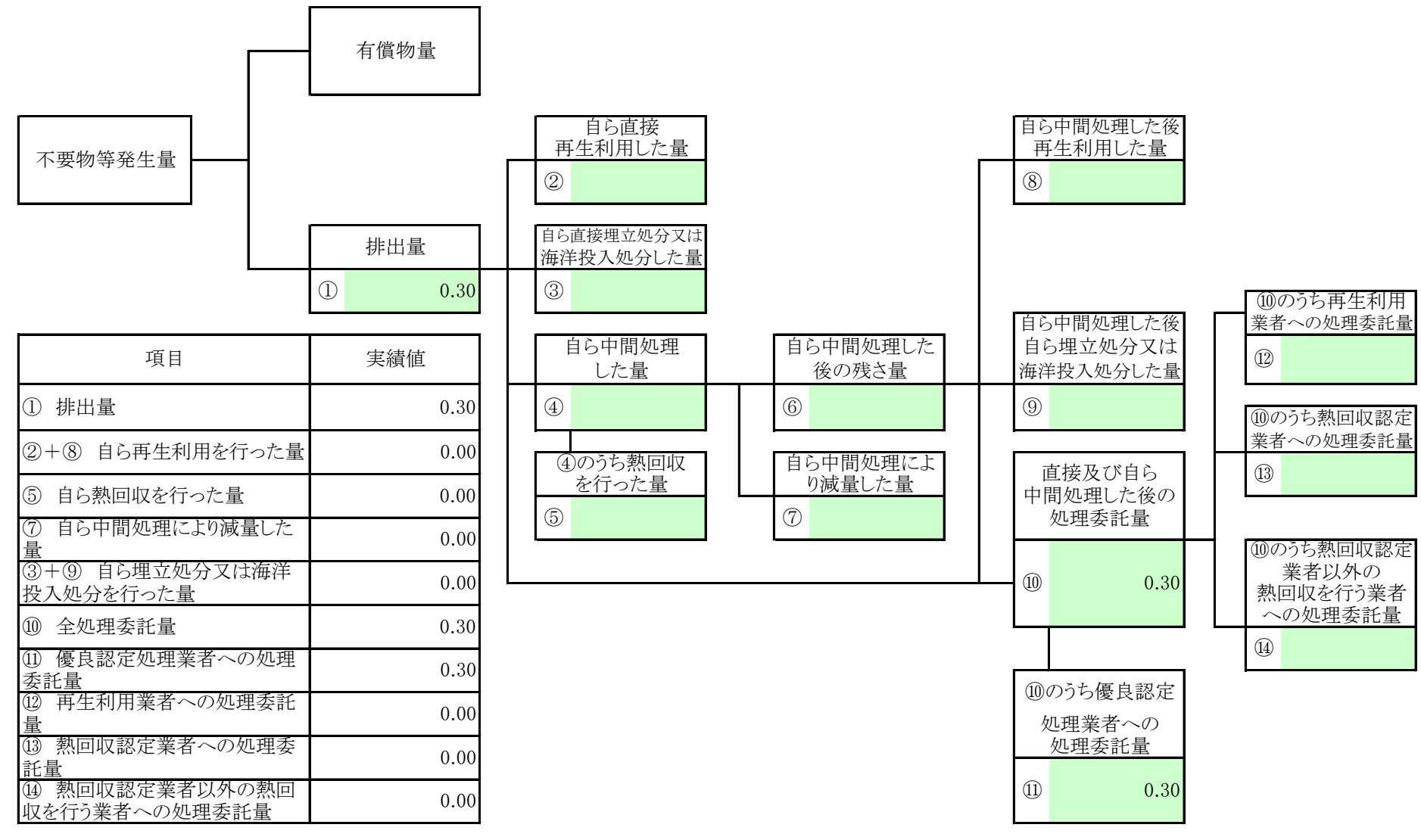
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ダンボール)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥 )

